

★2019年天文NEWS★ MIZAR

2月1日 **月と金星の接近!** ※夜明け前、東の空を昇る金星を観察
 最接近は深夜1時のため、まだ月は昇っていませんが、やがて月と接近した金星(-4.5等級)が東の空より昇ります。月は新月前の細い(三日月)形です。金星は1月6日に西方最大離角となって明けの明星、8月後半以後は宵の明星です。

2月1日 **月と金星の接近**
 金星
 月齢27の月
 東京 4:00
 南東

2月20日 **スーパームーン**
 スーパームーンの月
 平均の大きさの月

2月20日 **スーパームーン!** ※深夜の0時54分に大きな月が輝きます
 月の公転軌道は、だ円のため地球との距離に変化が起きます。この日は今年最も大きく見える満月でスーパームーンです(地球との距離35万7000km、視直径0.56度)、普段より10%ほど大きく見える月の観察ができるでしょう。

4月9日 **ヒアデス星団の食**
 月
 ヒアデス星団
 アルデバラン
 おうし

5月21日 **月と木星の接近**
 土星
 月(5/21)
 月(5/23)
 木星
 いて
 さそり

4月9日 **ヒアデス星団食!** ※61Tau(3.8等)の食20時ころ/西の空
 三日月頃の月が、おうし座のヒアデス星団を隠す食が起ります。九州以北で観察することができます。20時24分頃(東京)月の影に隠れ初め、21時20分頃月に現れます。西空の地平線近くですが望遠鏡で観察してみましょう。

5月21日 **月と木星の接近!** ※21日未明の2時半ころ/南西の空
 20日から21日にかけて満月を過ぎた月(月齢16)が木星(-2.6等)に接近します。もっとも近づく(約1度)のは21日の深夜2時37分です。23日の夜明け前には土星との接近が南の空で観察できます。

6月11日 **木星が衝!** ※へびつかい座で-2.6等級の明るさ
 今年の木星はへびつかい座で輝き、6月11日は木星が衝になる観望好期になります。梅雨が近づきますが晴れていれば日没後から東の空で輝き始めます。縞模様やガリレオ衛星の観察にチャレンジしてみましょう。

6/11 木星が衝
 木星
 いて
 アンタレス
 さそり
 (数字は月)

6月11日 **木星が衝!** ※へびつかい座で-2.6等級の明るさ
 今年の木星はへびつかい座で輝き、6月11日は木星が衝になる観望好期になります。梅雨が近づきますが晴れていれば日没後から東の空で輝き始めます。縞模様やガリレオ衛星の観察にチャレンジしてみましょう。

7月3日 **南太平洋で皆既日食!** ※チリ~アルゼンチンでも観察!
 日本では見られませんが、ニュージーランド東の南太平洋海上から、南米のチリ、アルゼンチンを横断する皆既日食が起ります。アルゼンチンでは皆既後に日食のまま太陽が沈みます。日本で皆既日食が見られるのは2035年です。

7月10日 **土星の衝!** ※いて座で0.1等級の明るさ
 いて座で土星が衝になり観察しやすい時期になります。大きなリングを持つ明るい輝きの惑星です。リングの詳しい観察は難しいのですが、望遠鏡を使い50倍以上の倍率で観察すると、リングのある姿を見ることができでしょう。

7/10 土星が衝
 土星
 いて
 (数字は月)

7月10日 **土星の衝!** ※いて座で0.1等級の明るさ
 いて座で土星が衝になり観察しやすい時期になります。大きなリングを持つ明るい輝きの惑星です。リングの詳しい観察は難しいのですが、望遠鏡を使い50倍以上の倍率で観察すると、リングのある姿を見ることができでしょう。

7月17日 **西日本で部分月食!** ※西日本で夜明け前に始まります
 朝の5時半頃の西空で月が地球の影に3割くらい隠れる部分月食が、九州や四国の西側、中国地方の西側地域で起りますが、日の出も5時半頃のため明るくなりはじめ観察しにくいでしょう。月は月食が終わる前に沈みます。

7月17日 **部分月食**
 北
 半影
 本影
 7時 6時 5時(東京)

8月1日 **ふたご座流星群の観察!** ※空を広く見上げて観察
 ペルセウス座流星群が極大、13日未明・14日未明に多くの流星が期待されますが、空には満月(15日)前の明るい月が一晩中輝いていて観察には向かない条件です。夜空の暗い方(北)を向いて観察にチャレンジしてみてください。

ふたご
 水星
 金星
 月

8月1日 **早朝に金星食!** ※4時47分、新月から金星が現れます
 早朝に、東日本と北日本で金星食が起りますが新月のため月の出直後(8分後)に日の出を迎えるため観察は難しいでしょう。地平線の見える場所で、食が終って新月から現れる金星を探しますが太陽を見ないよう注意してください。

8月13日 **ペルセウス座流星群の観察!** ※空を広く見上げて観察
 ペルセウス座流星群が極大、13日未明・14日未明に多くの流星が期待されますが、空には満月(15日)前の明るい月が一晩中輝いていて観察には向かない条件です。夜空の暗い方(北)を向いて観察にチャレンジしてみてください。

9月8日 **月と土星の大接近!** ※8日の夜から9日0時頃/南西の空
 9日の0時17分に上弦過ぎの月と土星が最接近(東京約0.6度)しますが、この時間ではすでに月も土星も地平線に沈みはじめていて観察が難しいでしょう。そのため、前日8日の夜11時頃から土星に接近する月を観察してみましょう。

9月8日 **月と土星の大接近**
 土星
 月
 いて
 南西

12月26日 **部分日食**
 天頂
 東京
 最大食: 5時35分12秒 食分: 0.389

12月14日 **ふたご座流星群の観察!** ※空を広く見上げて観察
 年間最多の流星が見られる流星群です。12日に満月になった月が輝いていて観察しにくい条件ですが、月が視野に入らない方角を見上げて観察すると良いでしょう。1時間に30個くらいの流星の出現が期待されます。

12月26日 **全国で部分日食!** ※太陽が3割程度欠けます/南西の空
 太陽が3~4割程度欠ける部分日食が起ります。西日本では日食の終了まで観察できますが、東日本では太陽が欠けたまま沈みます。東京では15時30分頃から欠け始め、欠けの最大が15時35分、16時34分に欠けたまま沈みます。

★ミザールテックでは天体望遠鏡を各種用意しています。
 また、双眼鏡、ルーペ、コンパス、顕微鏡、シニアグラスなどの光学製品によりお客様のビジュアルライフをサポートしています。

株式会社 **ミザールテック**
<http://www.mizar.co.jp/>